



報道発表資料の配付日時 2月14日(火) 10時00分

発表項目 (行事名)	北海道博物館 第20回企画テーマ展 「もっと！ あっちこっち湿地 ～自然と歴史をめぐる旅～」		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p><b>【ポイント】</b> 2月25日(土)から、北海道博物館において第20回企画テーマ展「もっと！ あっちこっち湿地」を開催します。 展示会の開催にあたり、2月24日(金)に「報道機関向け展示説明会」を行いますので、ぜひ参加・取材の上、多くの皆様に周知していただくよう、お願いします。</p> <p><b>報道機関向け展示説明会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日時 2月24日(金)①10:00～、②13:30～ (各回約50分)</li> <li>○場所 北海道博物館 2階特別展示室</li> <li>○申込 011-898-0456 (9:30～17:00) 青柳、久保見 (不在の場合は、道民サービスグループまで)</li> <li>○集合 各開始時間までに直接会場へお越しください。</li> </ul> <p><b>第20回企画テーマ展「もっと！ あっちこっち湿地」</b>※別添チラシ参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会期 2月25日(土)～5月28日(日) 9:30～16:30 (5月は17時まで)</li> <li>○会場 北海道博物館 2階特別展示室</li> <li>○概要 湿地で見られる鳥や植物、昆虫などの生きものたち、かつては日本最大の湿原だった石狩大湿原の開拓など、湿地の歴史を紹介します。生物標本、開拓期の地図や道具、湿地を歩く感触を楽しむ体験展示など約1,800点を展示します。 ※臨時休館となった2021年夏の特別展のリメイク展示。</li> <li>○主催 北海道博物館、</li> <li>○共催 北海道ラムサールネットワーク</li> <li>○HP <a href="https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp">https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp</a></li> <li>○観覧料 無料</li> </ul>		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い	●本展示会を多くの皆様に知っていただけるよう、周知と取材のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	北海道博物館 TEL 011-898-0456 (ダイヤルイン) ●展示内容：表、水島 ●取材申込：三浦、青柳、久保見		

第20回 企画テーマ展

北海道博物館  
HOKKAIDO MUSEUM

もっと!

# あっちこっち<sup>しっち</sup>湿地

～自然と歴史をめぐる旅～



きてみて、あるいて、ハマってく?

入場無料

(総合展示は別途料金が必要です)

2023.

2.25 (土) ▶ 5.28 (日)

会場 北海道博物館 2階 特別展示室  
時間 9:30～16:30 (5月は17:00まで)  
休館日 毎週月曜日

主催 北海道博物館 共催 北海道ラムサールネットワーク  
協力 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園、北海道大学総合博物館、  
苫小牧市美術博物館、釧路市立博物館、美幌市郷土史料館、岩見沢郷土科学館、  
札幌市博物館活動センター、神奈川県立生命の星・地球博物館、北海道立図書館

※ 本展示は臨時休館となった2021年夏の特別展のリメイク企画です  
※ 感染状況によっては開催内容を変更、中止する可能性があります  
※ 開催状況や行事等の詳細は、HPで最新の情報をご確認ください

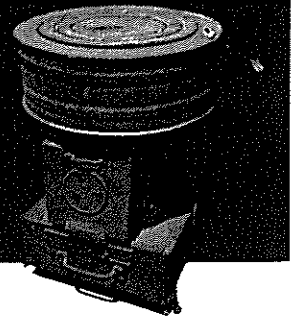


もっと!

# しっち あっちこっち湿地

～自然と歴史をめぐる旅～

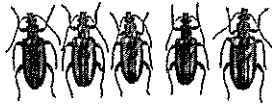
湿原、沼、川、湖、干潟... 北海道は湿地の宝庫!  
歩いて、感じて、学べる展示が北海道博物館に出現します。  
湿地で見られる鳥や魚、昆虫や植物、そして幻になってしまった  
生きものたちが大集合。さらに、かつては日本最大の湿原だった  
石狩大湿原の開拓など、あなたの足下にもきっと埋まっている  
湿地の歴史を掘りおこします。



泥炭ストーブ  
所蔵：北海道博物館

## 展示構成

- 1章 世界は湿地でつながっている
- 2章 湿地の生きものたち
- 3章 消えゆく石狩大湿原
- 4章 北海道あっちこっち湿地

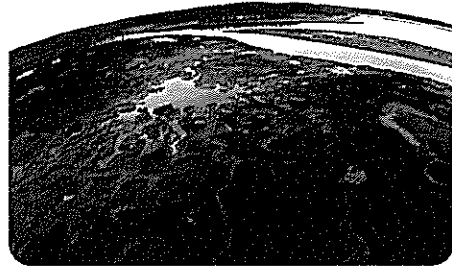


スゲハムシ

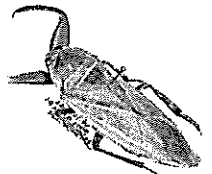


シマアオジ

写真：サロベツ・エコ・ネットワーク



サハリン北部の沼だらけの湿地



タガメ

所蔵：北海道博物館

## 利用案内

会期 2023年2月25日(土)～5月28日(日)

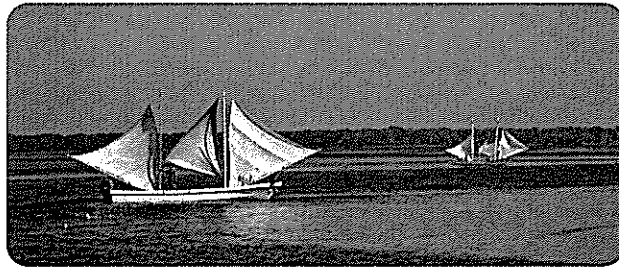
時間 9:30～16:30 (5月は17:00まで)

※入館は閉館時間の30分前まで

休館日 月曜日

入場料 無料(総合展示は別途料金がかかります)

※新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための対策を講じた上で開催します。混雑時は入場制限を実施する場合があります。感染状況によっては開催内容を変更、中止する可能性があります。

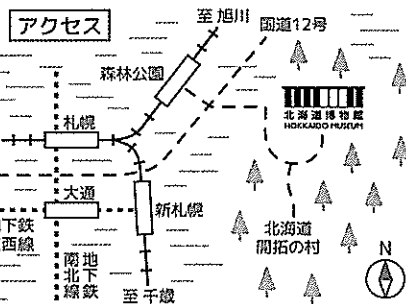


打瀬舟の北海しまえび漁 写真：野付半島ネイチャーセンター



ウリュウコウホネ

写真：雨竜沼湿原を愛する会

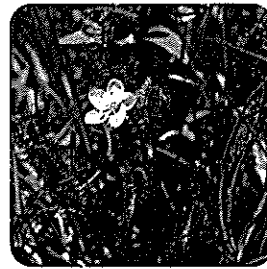


〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野郷5-2 ☎011-898-0466  
 バス 新札幌駅から バスターミナルのりば@ジェイ・アール  
 北海道バス新22「開拓の村」行き「北海道博物館」下車  
 森林公園駅から 東口のりば 上記のバスに乗車  
 徒歩 森林公園駅から20～25分 お車 駐車場あり(無料)

## 歩いて、楽しむ、 フットオン展示



ゆらゆら湿地体験



ナガバノモウセンゴケ

写真：サロベツ・エコ・ネットワーク



湿地の開拓「殖民公報」第97号(1917年)

所蔵：北海道博物館

## 関連行事

### ミュージアムカレッジ

#### ウトナイ湖・勇払原野の野鳥と自然

ウトナイ湖とその周辺で見られる野鳥や自然環境の変化についてお話しします

3月5日(日) 13:30～15:30

会場：北海道博物館 講堂 定員：80名

講師：江崎逸郎氏 苫小牧市美術館学芸員

稲葉一将氏(公財)日本野鳥の会ウトナイ湖サングクチュアリ

### 子どもワークショップ

#### 巨大すごろくでスリル満点! わたり鳥の旅

北の湿地で生まれたわたり鳥の子は、ピンチをのりこえ、はるか南の日本へ

3月19日(日) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00

会場：北海道博物館 講堂

定員：各回10名(小中学生)

講師：表溪太

### 自然観察会

#### エゾアカガエルの ラブコールを聴こう

この時期にしか聴けないエゾアカガエルの歌声を聴きましょう

4月15日(土) 10:00～12:00

会場：自然ふれあい交流館 定員：40名

講師：堀繁久、水島未記、表溪太、

野幌森林公園自然ふれあい交流館スタッフ

### ミュージアムカレッジ

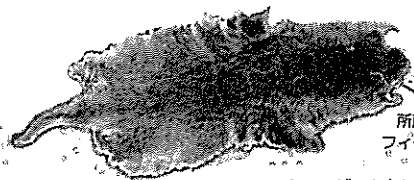
#### 馬が湿地ではいた靴

開拓期の北海道農業を支えた、馬の足を守り、湿地で使われた馬の靴を紹介します

4月29日(土・祝) 13:30～15:00

会場：北海道博物館 講堂 定員：80名

講師：山際秀紀



カウソの毛皮

所蔵：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園

### ミュージアムカレッジ

#### 札幌にもいた!? カウソのお話

絶滅してしまったカウソの系統や生態、文書に残された記録についてお話しします

5月14日(日) 13:30～15:30

会場：北海道博物館 講堂 定員：80名

講師：山田伸一氏 札幌学院大学、表溪太

### 講演会

#### 湿原の自然誌と変遷

北海道の湿原の成り立ちや特徴を説明し失われつつある石狩湿原や静狩湿原の変遷についてもお話しします

5月21日(日) 13:30～15:30

会場：北海道博物館 講堂 定員：80名

講師：富士田裕子氏

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園

### 行事のお申し込み

お電話 011-898-0500 にて

開催の1か月前から受付(先着 9:30～17:00)

行事等の詳細はHPで最新の情報をご確認ください



ダヴリアアチョウザメ

所蔵：北海道博物館

湿地用蹄鉄

所蔵：北海道博物館